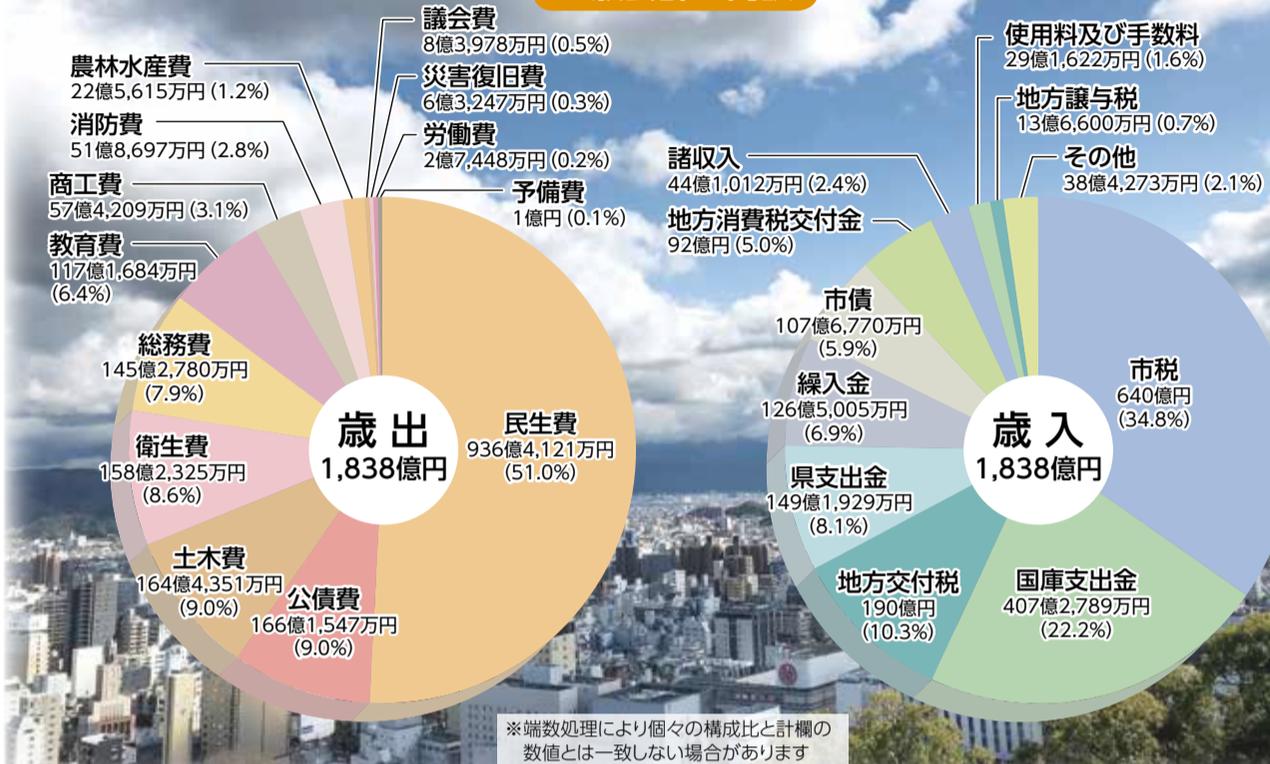


一般会計の内訳



※端数処理により個々の構成比と計欄の数値とは一致しない場合があります

本市の平成31年度当初予算が3月定例会市議会で決まりました。総額は3879億660万円。一般会計は1838億円で過去最大の規模となりました。第6次総合計画に掲げる将来都市像「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市まつやま」や、公約である「松山をつくる5つの柱」の実現を目指します。(2〜4面に関連記事)

平成31年度当初予算
総額3879億660万円
「松山をつくる5つの柱」で「幸せ実感都市」を

一般会計

【歳出】歳出の主なものは、民生費の936億円(対前年度比5.16%増)がトップ。国の幼児教育無償化に伴う給付費の増や障害福祉サービス事業費の増への対応のほか、待機児童対策や保育の質の向上、保育士などの確保、児童クラブの増設や運営充実などに取組みます。次いで、公債費の166億円、土木費の164億円、衛生費の158億円などとなっています。

【歳入】歳入の主なものは、市税が640億円(対前年度比1.59%増)、次いで、国庫支出金の407億円(同6.93%増)、地方交付税の190億円(同5.56%増)と続いています。

特別会計

国保会計が約548億円、介護保険会計が約495億円、競輪会計が約186億円、後期高齢者医療会計が約63億円などとなっています。

当初予算の内訳

予算区分	予算額	対前年度比	
		増減額	伸び率
一般会計	1,838億円	55億円	3.08%
特別会計	1,319億3,400万円	40億4,620万円	3.16%
企業会計	489億940万円	3億6,160万円	0.74%
合計	3,646億4,340万円	99億780万円	2.79%
公債管理会計	232億6,320万円	24億8,900万円	11.98%
総合計	3,879億660万円	123億9,680万円	3.30%

企業会計

下水道会計が約29億円、水道会計が約173億円、工業用水道会計が約12億円、簡易水道会計が約5億円などとなっています。

市長所信表明(要旨)

就任以来、現地・現場を大切に、市民目線を大切に、市民の皆さんの笑顔のため、私自身も笑顔姿勢で市政運営に取り組んでまいりました。



3月定例会市議会で所信を表明する野志市長

就任直後から開始したタウンミーティングは、110回を数えます。これからも市民の皆さんと直接対話を重ね、相互理解や連携をさらに深めます。

G20愛媛・松山労働雇用大臣会合が松山市で開催されます。愛媛県や民間としっかり連携し、開催地として万全の態勢を整えます。

1月15日から、道後温泉本館の保存修理工事が始まりました。松山の宝である道後温泉本館を次の世代に継承していくため必要な工事です。次の100年先を見据えた新たな挑戦です。市民の皆さんと前向きな気持ちで乗り越えていきます。

今年、松山市制が行われて130年の節目です。今日の松山市を築かれた先人のご尽力に敬意を表し、松山への愛着や誇りがさらに深まるように努めます。

「笑顔広がる人とまち 幸せ実感都市まつやま」の実現に向け、挑戦し続けていく決意を新たにしています。

「温故知新」をコンセプトに平成の先の新たな時代に向かって力強く踏み出します。

本市では、社会保障関係費の増加や公共施設の老朽更新などで財政需要が増加し、豪雨災害からの一日も早い復旧・復興、子育て・教育環境の充実や防災・減災対策、松山圏域の中心都市として必要な公共投資などが重要な課題への確な対応が求められています。

平成31年度予算編成では、持続可能な財政基盤の整備とともに、市民の皆さんとお約束した公約の5つの柱の実現を着実に進めることにしました。

「笑顔広がる人とまち 幸せ実感都市まつやま」の実現に向け、挑戦し続けていく決意を新たにしています。

主な内容

- 平成31年度当初予算関連 2~4面
- 救急医療機関などのご案内 12面
- 松山市立地適正化計画 改訂版などを策定 5面
- 市民ガイド 7~11面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション推進課
毎月1日・15日発行
☎948-6705 FAX934-2578
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/